

専門研修プログラム更新および新規申請について

2024年3月20日
一般社団法人 日本形成外科学会
認定施設認定委員会
委員長 小室 裕造

本年も専門研修プログラムに関しては2024年5月中旬に学会での一次審査を行い、6月から8月にかけて都道府県協議会および日本専門医機構による審査（二次審査）を行う予定となっています。

また、2025年度専攻医に対しては、2024年11月に専攻医募集開始予定と伺っていますが、どうなるかはまだ正式に発表されていません。

【プログラムの更新に関して】

エクセル資料だけの提出ではなく、下記のとおりシステム上での手続きを必要としますので、ご注意ください（代わりにご提出いただくエクセル資料の量は減ります）。

1. 専門医機構の研修プログラム管理システム上での更新手続き

機構の研修プログラムサイトへアクセス

<https://sys.jmsb.or.jp/trainingProgram/html/login.html>

*採用処理等を行っていただいているサイトです。

ログインIDやパスワードは統括責任者の先生にて管理いただいているもののため、ご不明な場合はお手数ですが専門医機構までお尋ねください（学会事務局は分かりかねます）。

A) 統括責任者情報や登録者・連絡先担当者の変更がある場合、ここに情報をご記載ください。また、最終的な希望定員数もこちらに記載する必要があります。

B) 「冊子情報の変更」

こちらにこれまで提出いただいていた研修プログラム冊子の最新版をPDFファイル化し、アップロードしてください。また、各設問に対し、簡潔に情報をご記載ください。こちらに関してはこのシステム上で専攻医がプログラムに関する詳細をサイト上で閲覧する際に見られる情報になります。プログラム冊子と重複する内容がほとんどだと思いますので、簡潔に記載し、「*詳細はプログラム冊子参照」としていただいても問題ございません。

C) 「連携施設、関連施設の変更」

プログラムの連携施設群に入っている施設をここにすべて追記してください（連携、連携候補、地域医療すべて）。

自身のプログラムに振り分けられている按分後の指導医総数を各施設の欄に記載してください。昨年からのプログラム統括責任者も自身のプログラム上において指導医としてカウントができるようになりました。

また、プログラム上の指導医として専門医を1回以上更新している方はすべて指導医としてカウントすることが可能です。

連携候補施設や地域医療連携施設の場合、指導医数は0になります。

また、機構からの指示により、過去連携していたが今は連携していない施設であっても、ここには指導医数0として施設一覧に残してください。

(理由は過去に採用されている専攻医が自身のローテーション入力の際に対応できなくなるのを防ぐためとのことです)

新規で施設を追加する場合、連携施設区分は連携施設の場合「連携」、連携候補施設や地域医療連携施設の場合は「関連」を選択してください。

医師少数区域フラグに関しては各病院の状況に応じ、必要であれば設定してください。

上記すべての変更申請が完了したのちに、システム上の「申請する」ボタンから申請を行ってください。

以上で専門医機構の研修プログラム管理システム上での更新手続きは完了となります。

2. 学会一次審査用のエクセル資料の作成

エクセル資料は下記ホームページより更新申請書をダウンロードして作成してください。

(書類ダウンロードページ「研修プログラム」よりご確認ください)

<https://jsprs.or.jp/specialist/shorui/index.html>

記入が必要なものは1. ~5. の赤く塗られたシートです。記入が必要な箇所はすべて黄色く塗られている部分で、その他は自動入力されます。自動入力箇所は編集をしないようにしてください。

①表紙

プログラム名、統括責任者名、申請日をご記載ください。

②施設情報

プログラムを形成する連携施設群をすべてご記載ください。

これまでの申請書Aの「別紙2」の内容が主になります。

施設区分は「連携」「連携候補」「地域医療連携」の3つの区分から選択してください。

それぞれ下記が条件となります。

* 連携施設・・・常勤の指導医が1名以上施設に在籍 (*プログラム上の指導医で可)

連携候補施設・・・指導医はいないが常勤の専門医が1名以上在籍

地域医療連携施設・・・上記のように専門医も指導医もないが、地域医療研修を行うために連携するクリニックや希少な症例を経験するための美容医療施設など

按分後指導医総数には連携施設における按分後指導医の合計数をご記載ください。

例) 指導医が2名いてそれぞれこのプログラムでは0.5ずつ按分されるとき、按分後指導医総数は1となる(0.5+0.5)。

③指導医情報

プログラム上構成される指導医をすべてご記載ください。

自プログラムにおける按分が0の場合、本シートに記載しなくて結構です。

(按分が0の方や指導医でない場合は記載しなくてもOK → 専門医資格のみの方など)

会員番号を記載いただければ専門医番号や更新回数が自動で表示されます。

専門医を1回以上更新している方が指導医としてカウントが可能です。

そのため、この更新回数が0の場合、指導医としてカウントできません。

(ただし、2023年度に初更新をされた先生の場合、こちらに0と表示されることがありますので、その場合はそのままご提出いただいて構いません。事務局にて確認を行います)

0列にはこのプログラムにおける按分割合をご記載ください。

(小数での記載をお願いします。2/3ならば0.66など。エクセルに数式を入れていただいても結構です。“=2/3”など)

*施設情報や指導医情報を記載する際に、枠が足りなくなった場合はお手数ですが学会事務局までお問い合わせください。

枠を増やした申請書を別途お渡しします。

④募集専攻医定員

希望する定員数、実際に雇用可能な人数(給与面や役職等)を記載してください。

「4-2. 専攻医上限数確認シート」では、後述の入力された症例数に応じての雇用可能な専攻医数の確認を行うことが可能です(5. 症例数確認のシートが入力済みであることが条件)。

⑤症例数確認

「施設情報」で入力いただいた分の施設一覧が表示されますので、**その施設における全体症例数に指導医の按分割合をかけた症例数をご記載ください。**

算出は計算シートを用意しておりますのでこちらをご利用いただいても構いません。

基本的には按分後の基幹施設症例数と按分後の連携施設症例数の合計でプログラム全体の症例数を確認するため、連携候補施設や地域医療連携施設の症例数は原則0となりますが、プログラム全体数における症例数が上記のみでは少なく、専攻医応募の定員数に影響が出る場合は連携候補施設や地域医療連携施設の症例数を記載いただいて構いません(按分は不要)。

上記の記載(連携候補施設や地域医療施設の症例数の記載)がある場合、別途委員会でプログラムとして適正かの審査を行います。

*基幹施設および連携施設での経験症例のみが専攻医が専門医申請時の10症例に利用可能で、300症例についてはプログラム内のすべての施設(連携候補や地域医療連携も含む)での症例が利用可能です。

今後、専攻医はNCDを用いた経験症例確認機能を利用して症例管理を行うため、研修プログラム内での連携施設群でNCDを利用していない施設がある場合は必ず利用を開始するように基幹施設からお知らせください。

プログラム更新については上記の2種を対応いただければ終了となります。

【プログラムの新規申請に関して】

例年と同様に申請書類（申請書A， B， プログラム冊子）をご提出いただきます。
ホームページにモデルプログラムや申請書の様式がありますので， 整備基準なども確認しながら， そちらから書類をご作成いただき学会事務局までご提出ください。

（モデルプログラム作成および申請書書式）

https://jsprs.or.jp/specialist/shutoku/seido/kenshu_program.html

（整備基準）

https://jsprs.or.jp/specialist/shutoku/seido/seibi_kijun.html

なお， 東京や大阪などのシーリングのかかった地域を基幹施設とする研修プログラムの新規申請は原則認められませんのでご注意ください。

【専門研修プログラム申請受付期間】

2024年3月20日（水）～2024年4月21日（日）

【提出方法】

上記期間中に機構サイトでの提出（オンライン）

申請書のエクセルに関しては学会事務局へメールで提出とする。

（下段問い合わせ先参照）

【問い合わせ先】

一般社団法人日本形成外科学会 事務局

TEL：03-5287-6773

E-mail：jsprs-office01@shunkosha.com